



発行日/令和7年11月28日

寒くなると、インフルエンザなどの風邪症状を伴う感染症や感染性胃腸炎が流行します。体調不良のサインがあった場合は、早めに休養をとることが早い回復につながります。体調が悪い場合や食欲がないとき、また、いつもと様子が違う場合は、ご家庭でゆっくり過ごしましょう。

ほけんの予定

12月22日(月) 発育測定 (0.1歳児)
12月23日(火) 発育測定 (2歳以上)

11月の感染症報告

水疱瘡 (みずぼうそう)
インフルエンザ A

乳幼児突然死症候群 (SIDS) から子どもを守りましょう

乳幼児突然死症候群 (SIDS) とは、何の予兆や既往歴もないまま乳幼児に突然の死をもたらす疾患であり、令和6年には51名の乳幼児が亡くなっています。冬季に発生しやすい傾向があり、乳児期の死亡原因としては5位となっています。

12月以降の冬季に発生する傾向があります

以下の3つのポイントを守ることによって SIDS の発症率が低くなるというデータがあります。

- 1歳までは「あおむけ」に寝かせる
- できるだけ母乳で育てる
- たばこはやめる

「あおむけ」で寝かせることは、睡眠中の窒息事故を防ぐうえでも有効です。



眠っている赤ちゃんの窒息を防ぐためには

ベビーベッドに寝かせ、
柵は常に上げておく
頭や身体が挟まれないように注意

赤ちゃんは、日々成長し、できることが増えるため、「動かないだろう」と油断せず、転落しないように、柵は常にあげておきましょう

赤ちゃんが寝る場所には枕
やぬいぐるみを置かない
口や鼻はおおわない

枕やタオル、衣類、よだれかけ、ぬいぐるみなどは近くにおかないようにしましょう

下に敷く布団・マットレスは固めで平らなものを
上にかける布団は使わない

やわらかい敷き布団、マットレスは、うつ伏せになった場合に顔が埋まってしまい窒息するリスクがあります

インフルエンザにご注意ください

新潟市で、インフルエンザ注意報が発令されています。昨シーズンに比べ、注意報発令時期が1か月程早くなっています。年末年始に向けて、人も混雑してくる状況ですので、マスク着用や手洗いなどの感染予防対策を行い、体調の変化に注意していきましょう。いつもと違う様子がある場合は、保育者にお知らせください。その後の体調変化に注意していきたいと思います。

やけどに注意しましょう

床に置くタイプの暖房機や加湿器は、**子どもの手の届かないところに設置するか安全柵で囲みましょう。**

<やけどをした時の処置>

シャワーや水道水を患部に直接あてないように
容器に溜めた水で10分以上冷やす
※流水の場合は勢いを弱め刺激を少なくする

保育園での SIDS 予防

子どもたちが眠った後は、首からぶら下げているタイマーで時間をはかり、睡眠チェックを行っています。SIDS のリスクが高い0歳児は5分おきに、1歳児は10分おきにタイマーが鳴ったら、うつ伏せを直し、体に触れて、呼吸確認を行います。ご家庭で、うつ伏せ寝の癖がついているお子さんも、園では、仰向けに直し、SIDS の予防に努めています。



こうして子どもの安全を守っています！